

「当院維持血液透析患者の足病変に関する他院受診の現況」

医療法人財団はまゆう会新王子病院¹⁾

医療法人真鶴会小倉第一病院²⁾

田中歩美¹⁾ 大谷麻岐¹⁾ 朝信百合¹⁾ 渡辺貴子¹⁾ 河村順子¹⁾

宮崎三枝子¹⁾ 惣明靖元¹⁾ 瀬川賀世子¹⁾ 石井義輝²⁾ 箆島明彦¹⁾

【背景】

当院ではフットケアチームが糖尿病患者 (DM) を中心にフットケアを行っている。しかし、非糖尿病患者 (非 DM) の足病変が増加していると思われ、足病変に関する他院受診状況を調査した。

【目的】

足病変に関する過去5年間の他院受診状況を調査し、フットケアの関わりを再考する

【方法】

当院維持血液透析患者 349 名 (DM157 名) の過去5年、足病変での他院受診者数、受診件数、受診理由、治療内容を調査した。

【結果】

他院に受診した患者は 68 名、受診述べ件数 DM は 96 件、非 DM は 36 件、3 回以上の受診は DM13 名、非 DM1 名であった。

受診理由は DM、非 DM ともに ABI の低下が多かった。DM では切断が 7 件、PTA が 6 件、非 DM はそれぞれ 0 件、2 件だった。

【考察】

非 DM は、透析歴が長く高齢化に伴い、足病変の発症が増加傾向にあったため、スタッフの認識を高め知識の向上と、患者の予防的な意識の向上が必要であると考ええる。